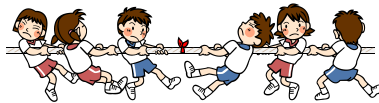


一歩ずつ、前へ

令和6年10月22日

感動をありがとう！



10月12日(土)、素晴らしい秋晴れの中、令和6年度美園小学校大運動会が盛大に開催されました。PTA本部役員をはじめ、実行委員や保護者の皆様など、多数の方にご支援いただき、誠にありがとうございました。

「応援と団結の二刀流！ みんなの絆で本気になれ！」のスローガンのもと、子どもたちは全力で走り、踊り、競い合っていました。美園小学校教職員一同、真剣な子どもたちの姿に、心から感動しました。美園小学校の児童の皆さん、本当に感動をありがとう！

特に、団長を務めたり、係の仕事に励んだりしてくれた6年生。本当に素晴らしい活躍でした。1～5年生の子どもたちは、きっと6年生を「憧れ」の存在に感じたことと思います。6年生はもちろんのこと、今後は運動会での努力・成果を、学校生活の様々な場で発揮してくれることを願います。

また、保護者、地域の皆様には、「防災バケツリレー」に多数ご参加いただき、ありがとうございました。「お家の人と一緒にやれてよかった」と、多くの子が喜んでいました。11月16日(土)の学校公開にも、多数の方が参加していただけますこと、お待ちしております。



令和6年度 館林市小学校陸上記録会

令和6年10月2日(水)、城沼陸上競技場にて「令和6年度館林市小学校陸上記録会」が開催されました。美園小学校からも、学校を代表し、多数の選手が出場しました。保護者の皆様も、暑い中応援いただきまして、誠にありがとうございました。

中でも、※個人情報保護のため省略、10月28日の県大会に出場となります。おめでとうございます！美園小代表として出場した選手の皆さん、本当に見事でした。感動をありがとう！

参加した選手の皆さんは、以下のとおりです。

【個人情報保護のため、省略】



人権について考える「人権集中学習」



日本では、12月4日～12月10日までの一週間を人権週間とし、最終日の12月10日は「人権デー」と定めています。

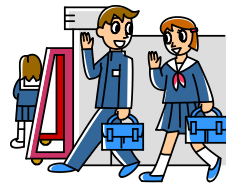
今年度も、美園小学校では10月4日（金）に人権集会を行いました。人権とは、「人が人として、社会の中で自由に考え、自由に行動し、幸せに暮らせる権利（けんり）のことで、すべての人が、生まれながらにもっている権利」です。校長からの講話において、「人権について考えるとき、他の誰かのこと、私たちにはあまり関係のないことと捉えるのではなく、**自分事として考える**ことがとても大切です」と伝えました。

子どもたちも、美園小学校や自分の学年・学級、各家庭という一つの社会の中で生活しています。この小さな社会の中にも、様々な相手や仲間がいて、「互いを大切にする」と、「互いを思いやる」となどを忘れずに生活しています。

これからもっと成長し、大人になって社会に出るときには、より一層多様な人々と交流するはず。お年寄りの方、外国籍の方、障がいを抱える方、小さな子どもなど、今はそれぞれの多様性を認め、互いを尊重し、支え合う社会が求められています。

今、子どもたちは、学校での道徳や学級活動などにおいて、改めて「人権」について学習しています。「人権標語」の作成では、ご協力いただいているご家庭もあるかと思います。ありがとうございます。子どもたちにとって身近な大人である教員や家族の方が、「互いを尊重し合う」ことの大切さを伝え、子どもたちの豊かな心の育成を図りたいと思います。ご協力をお願いします。

「学ぶ意義」とは？



「なぜ、勉強するの？」

子どもの頃、誰しもが思ったことがあると思います。校長である私も思いましたし、保護者の皆さんも同じではないでしょうか？

「なぜ勉強するの？」という、この問いに対する回答は、今でもなかなか難しいと思っています。もちろん、大人として「学ぶ意義」は分かります。やはり、社会で生活していく上で「基礎的、基本的な知識は暮らしを豊かにする」「学生時代に学んだことが、社会に出たときに生かされる」ことは、大人であると理解している人が多いと思います。ですが、子どもにこのことを理解させることは、小さな子どもであるほど難しいと感じます。

令和6年度全国学力・学習状況調査での児童に対する質問紙でも、「学ぶ意義」を問う質問に対する回答では、全国的に肯定的な回答が少ないことが課題となっています。もちろん、美園小学校でも同様です。また、1学期終わりに保護者の皆様にもご協力いただいた学校評価でも、この「学ぶ意義」については課題であることが示されました。

こうした背景を踏まえ、まずは学校として、「学校で学ぶことは楽しい」と感じられる授業を追究し続けようと思います。このこともたいへん難しいことではありますが、学校では大切なことです。学校ならではの学びとして、一人では難しくとも友達と一緒に考えたり、試したりすることで、「できた、分かった」と実感することができます。こうした協働的に学ぶ姿勢は、社会に出たとき非常に求められる姿勢だと思うのです。

さらにもう一つ、「学ぶ意義」を子ども自身が考える授業も大切だと考えています。小さい子ども、その子なりに「できた、分かった喜び」を感じているでしょうし、「できる、分かること」、「目標を達成すること」が大切だと気付けると思います。

ご家庭でも、機会を捉えて、お父さんお母さんが「学校で学んだことがこんな風に役立ったよ」と、実際に生かされた経験をお話いただけると幸いです。よろしくお願いします。